

旅行取扱状況の概観（令和7年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比102.5%、学生団体は同90.9%、団体旅行合計では同94.7%となった。企画旅行については前年比98.3%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比96.1%と前年度を下回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比77.0%、学生団体は同125.5%、団体旅行合計では同99.9%となった。企画旅行については前年比144.6%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比117.7%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比156.0%と前年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の11月の総取扱額は、前年比105.1%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業コンベンションの取扱いが増加し、一般団体は102.5%と前年度を上回った。

学生団体は修学旅行の取り扱いが伸び悩み、学生団体旅行合計で90.9%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比98.3%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、伊勢志摩、沖縄方面の販売は好調も、他方面の宿泊旅行が伸び悩み、前年比85.0%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、紅葉の商品が堅調に推移し、前年比101.5%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比96.1%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、企業コンベンションの取扱いが増加するも、企業の招待旅行等が伸び悩み、前年比77.0%となった。

学生団体は修学旅行の取扱いが増加し、前年比125.5%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比99.9%となった。

海外企画旅行については、前年比144.6%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、エジプトやヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比145.3%となった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比117.7%となった。

3. 訪日旅行

一部市場での国際関係をめぐる外部環境の影響もあり、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約は伸び悩んだものの、スポーツイベント関連の団体旅行や中南米からの団体旅行の取扱いがあり、前年156.0%となった。